

## 卒業論文要旨

### 情報伝達精度と対人親和性を両立する対話型 AI アバターの構築と評価

西泉 隼佑

#### Construction and Evaluation of a Conversational AI Avatar Balancing Information Transmission Accuracy and Interpersonal Affinity

Shunsuke Nishiizumi

【背景・目的】 自動接客における正確な情報提供と情緒的接客の両立を目指して、十分な情報量と高い対人親和性を兼ね備えた AI アバターを構築・検証した。

【システム構成】 LLM による文脈理解と、音声・動作生成を統合したシステムを開発した (図 1)。発話と同期した自然な動作提示により、実在感のある対話インターフェースを実現している。

【結果】 実験の結果、質問と回答の文字数には明確な相関 (図 2) が認められ、ユーザーの問いに応じた適切な情報量の制御が確認された。以上より、的確な情報処理と心理的受容性を両立する本システムの有効性が実証された。

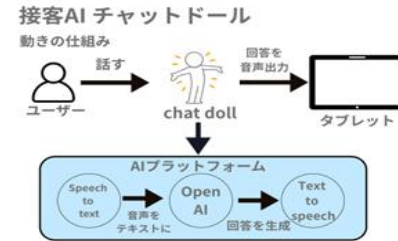


図 1. 接客アバターのシステム図

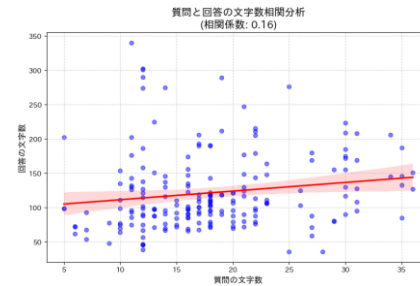


図 2. 質問と回答の文字数相関グラフ